



動乱の幕末。大和五條の代官所に打ち入った天誅組は、孝明天皇の行幸・御親征のさきがけとして文久三年八月十七日、徳川政権下ではじめての「新政府」を樹立しました。しかし翌日の十八日に京都で政変が起こり、大和行幸・御親征は中止になり、彼らは賊軍扱いをされてしまったのです。大義名分を失ったとはいえ、倒幕のために幕府軍と戦い続け、約40日の攻防の末、隊士の多くは東吉野村で戦死し天誅組は壊滅してしまいました。しかし、これにより各地で倒幕拳兵が相次いで起こり、四年後の明治維新へと繋がったのです。天誅組の義拳は初の武力倒幕の試みであり、明治維新のさきがけと讃えられています。



天誅組出発の図



白木義隆

白木義隆

白木義隆



80 NIPPON

80 NIPPON

80

80 NIPPON

80

白木義隆

白木義隆

白木義隆

白木義隆



天誅組総裁
吉村實太郎
尚徳画



天誅組総裁
松本堂堂
尚徳画



天誅組総裁
藤本鉄石
尚徳画



天誅組主将
中山忠光
尚徳画

80 NIPPON

80

80 NIPPON

80

80 NIPPON

80

80 NIPPON

80

白木義隆

白木義隆

白木義隆

白木義隆



当時の櫻井寺



伴林光手
あはれをこの
しぐらに
小笠の織の
在明の用

80 NIPPON



紀州騒動図の一部

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

© 印刷製本株式会社

